

平成28年7月27日
独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場長野支場

植物遺伝資源の袋かけ作業が始まります！

毎年夏頃になると、牧場の前を通る道から見える「白い袋がかかった植物の群れ」を不思議に思われている方が多いと思いますが、今年もその季節がやってきました。

長野支場では、ヤギの改良や牧草種子の生産及び検査の他に、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源センターをセンターバンクとする農業生物資源ジーンバンク事業のサブバンクとして、「ソルガム」という飼料作物の種子増殖（種子の生産）と特性調査を担当しています。この事業は、国内外の動植物を資源として収集・保存し、次世代に引き継ぐとともに、新しい品種を育成する際の材料としても利用できるようにするものです。

例年 120 系統（品種）、個体数にして 3000 株以上の穂の部分に白い袋をかぶせますが、これは、他の系統の花粉と互いに交雑することを防ぎ、確実に同じ系統同士の花粉が授粉した、遺伝的に純粋な種子を得るため行う作業です。各系統の由来は国内、アジア、アフリカ各国、アメリカなど様々ですが、丈の短いものから長いものまで、その姿も千差万別です。

毎年見える不思議な光景に、興味を持っている一般の方も多いかと思えます。取材のご希望がありましたら、【お問い合わせ先】まで、お気軽にご連絡下さい。

記

日 時： 平成28年7月19～8月31日頃
場 所： 家畜改良センター 茨城牧場長野支場 ほ場
内 容： 遺伝資源ソルガムの袋かけ作業

※ 袋かけ作業は、期間中ほぼ毎日、生育状態にもよりますが朝8時半から11時くらいまで行っています。例年8月上旬頃になりますと、白い袋が増えてきます。



袋かけされた「ソルガム」

【お問い合わせ先】

長野県佐久市新子田2029-1
独立行政法人
家畜改良センター茨城牧場長野支場
担 当 者：（栽培担当）種苗業務課 大野
 （調査担当）種苗検定課 川口
電話番号：0267-67-2501
FAX : 0267-68-4743
URL : <http://www.nlbc.go.jp/nagano/>

「日本の畜産 改良と技術で守ります」